みやけ MIYAKE MAKOTO
こまえをつなげる
# こまつなNEWS
VOL.16
2018年10月05日
発行号

発行：責任編集
狛江市岩戸北
3-18-8-701
狛江で分かりやすい
政治を伝える会

## 多摩川を遊び尽くす二日間、タマリバがやってきます。

10月7日 日
10月8日 祝

こまえをつなげる インタビュー

# タマリバで狛江の多摩川を一日遊び尽くしていただきたいです。

（お話は、篠塚 雄一郎氏　コマエカラー代表）

今回の「こまえをつなげるインタビュー」では、狛江の街をワクワクした街に変えていくべく、DIY精神をベースにたくさんの活動をされているコマエカラーを紹介します。一昨年から始まった多摩川の河川敷フェス「タマリバ」を企画運営されている団体さんです。今月の7日（日）8日（祝）の二日間にわたりに開催される三回目のタマリバに関して、代表の篠塚雄一郎さんに伺いました。

（聞き手　三宅まこと）

**タマリバを企画しようと思われた経緯を教えて下さい。**

自分たちが住んでいる狛江をもっと面白くしようと、（コマエカラーという団体を作る前に）初期メンバーで妄想を語っていました。その時の共通項が多摩川のポテンシャルを活かした取り組みです。河川敷に海の家ならぬ「川の家」があって、川の風を感じながら音楽を聴いて、美味しいビールを飲めたら最高だね、自分たちも楽しめるけど、もっと狛江をアピール出来るし、外からも人を呼べるよね、って話をしていました。

以前の河川敷は、BBQ等で週末には賑わっていましたけれど、ゴミや騒音などの問題で条例ができた経緯は知っています。ただ、あれだけの恵まれた環境があるんだったらもっと利用して、狛江の週末ライフを良くしたり、狛江の知名度を上げることが出来ないかなぁと考えていました。近隣の方々へ配慮しながらも出来ることがあるんじゃないかと。それで、二年前の秋に一回目のタマリバを開催したんです。

**実際に企画運営をされてご苦労されたことは？**

DIYスタイルでやっているために、企画、出店者誘致、アーティスト誘致、広報、会場設営など、すべてメンバーや仲間での手作りです。だから、そこに費やす時間やエネルギーは膨大です。ゼロからの手探りでした。ただ、個人的には大変さと面白さは基本的に比例すると思っています。

**それでは、良かったことを教えて下さい。**

やってみて良かったことは、とにかく来場者が楽しそうに過ごしている笑顔を見られたことですね。アンケートでも90％以上の方に「良かった」と回答いただき、熱いコメントもたくさんお寄せいただきました。狛江市以外の方にもたくさんご来場いただきました。多摩川や狛江をもっとたくさんの人に知ってもらえたことは、嬉しかったですね。インスタでも「#タマリバ」とか、たくさんの素敵な写真とコメントが上がっていて、ビックリしました。

**三回目のタマリバです。内容と特長を教えて下さい。**

フード、音楽、スポーツアクティビティ、ワークショップなど、思い思いに楽しむ2日間という意味では昨年まで同様です。新しいコンテンツとしては、クラウドファンディングのリターンとしてのテント泊やテンカラという日本の伝統的な釣り体験、タックル等がないタッチラグビー体験など多摩川河川敷ならではのものがあります。狛江界隈のブルワリーのオリジナルクラフトビールも推しです。その中にはクラフトビールの世界的なコンペティションで受賞しているものもあります。

さらに、タマリバの象徴である柳の木と多摩川を人気イラストレーターのオカタオカさんに描いていただいた、オリジナルTシャツやトートバックはタマリバ会場でしか買えません。

また、運営サイドでは来年のラグビーW杯期間中となるタマリバに多くの外国人にも来て欲しいと思っているので、外国語が得意な方にボランティアに入ってもらい、来年に備えようと思っています。

**最後に、ご来場される方にメッセージをお願いします。**

リピーターの方には、今年もお知り合いの方をお誘い合わせの上、ご来場いただきたいですし、初めての方にもぜひ、狛江の多摩川を一日遊び尽くしていただきたいです。

たくさんのコンテンツをご用意していますので、ご自身のお好みで楽しんでいただけると思います。

スケジュールやコンテンツに関する詳しい内容はタマリバの公式ホームページで、ぜひ検索してください。

（了）

篠塚さん

タマリバ　狛江　検索